

Project 41	地域協働専攻 国際協働グループ 外国にルーツを持つ児童・生徒への 遠隔と対面による日本語学習支援プロジェクト
メンバー	[学 生] 窪田 美優 / 坂本 奈々絵 / 酒井 リオナ / 藤野 夏帆 / 大石 百音 / 満間 笑歩 (協力:四條 睦) [担当教員] 佐藤 香織
<p>【背景】 外国にルーツのある児童・生徒への日本語学習支援は日本語教育における大きな課題の1つであり、函館の小学校・中学校には日本語支援を必要としている児童・生徒がいる。</p> <p>【目的】 ・外国にルーツのある児童・生徒の日本語能力向上 ・支援実施者の日本語教育の実践 (対面での入り込み・取り出し支援、コロナ禍でも行える日本語学習支援教材づくり)</p> <p>【概要】 前期・後期ともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、対面での日本語教育支援、教材作成を行った。</p>	
<p>【プロセスと成果】 前期は、対面での日本語学習支援(小学校)、アフガニスタン出身学習者への日本語教室アシスタント、教材作成を行った。 後期は、前期の活動に加え、小学校における日本語取り出し支援、中学校における社会・英語・実技教科の入り込み支援と主要教科時の日本語取り出し支援を行った。</p> <p>①F中学校 ・対象者:アフガニスタン出身 中学1年生と中学2年生 ・支援内容:社会、英語、実技教科の入り込み支援、主要教科時の日本語取り出し支援 ・学習者がひらがなを文字でなく単語で覚えていたため、ひらがな練習教材(クロスワード)を制作した。</p> <p>②H小学校 ・対象者:フィリピン出身 小学校6年生 ・支援内容:理科・社会の入り込みでの日本語支援(対面) ・なじみのない日本の歴史の語彙と内容が理解しにくい、特に歴史人物の名前が覚えられない、教科書の文が長く読解できない等の問題点を改善するため、飽きずに楽しく学習できる教材作成を行った。 (歴史人物の漫画のリライト・クイズ、教科書のリライト教材)</p> <p>③K小学校 ・対象者:中国出身 小学5年生 ・支援内容:国語 取り出しでの日本語支援(ひらがな・カタカナ学習、「たのしいがっこう」「こどものにほんご」を用いた表現(あいさつ、自己紹介等))、社会 入り込みでの日本語支援(授業内容や教科書の翻訳・簡略化、説明) ・身近なものの名前を覚える練習や、クラスメイトとのコミュニケーションに使えるような実用的な日本語会話練習をし、学習者自身のことを日本語で話してもらえるような工夫を行なった。</p> <p>④アフガニスタン学習者日本語教室アシスタント(前期) ・対象者:アフガニスタン出身 13~17歳 5名 ・支援内容:ひらがな指導や動詞・形容詞・文型練習の際のアシスタント活動、ひらがな学習教材の作成、生活に役立つ日本語を取り上げた動画作成(ごみの分別など)</p>	

